



田空だより

なすの大地

第7号

2006年3月号（通巻第7号）
那須野が原西部田園空間博物館運営協議会
企画広報部会 編集・発行

田園空間博物館運営協議会の活動

今回は、本協議会で今年度これまでにを行った行事や会議等について報告したいと思います。

○行事・PR活動

- 17年 8月6日 とちぎTV「なるほど！とちぎ」収録
- 8月22日 広報紙第6号発行
- 8月27日 「なるほど！とちぎ」放映（28日再放送）
- 10月2日 那須野が原ウォーク開催
- 10月5日 シルバー大学西那須野同窓会による
横接地区サテライト（展示物）見学の案内
- 10月24日 ホームページ開設
- 10月29日 西那須野産業文化祭出展（～30日）
- 12月20日 ワークショップ開催
- 18年 1月9日 大山コミュニティ写真展（～21日）
- 3月5日 広報紙第7号発行



↑ 「なるほど！とちぎ」の収録状況

○会議

・総会

- 17年 6月2日 総会開催

・役員会

- 17年 5月25日 総会準備
- 6月6日 17年度活動計画打ち合わせ
- 8月4日 とちぎTV「なるほど！とちぎ」収録打ち合わせ
「賛助会員の募集」検討
- 8月18日 那須野が原博物館との打ち合わせ
- 18年 1月26日 「今後の取り組み」検討



↑ 那須野が原ウォークの様子

・企画広報部会

- 17年 4月22日 ホームページ打ち合わせ
- 6月30日 PR活動打ち合わせ（とちぎTV「なるほど！とちぎ」）
- 8月23日 西那須野産業文化祭でのPR活動の検討
那須野が原ウォーク詳細打ち合わせ

・整備部会

- 17年 7月21日 フットパス（散策路）への道標設置箇所検討
サテライト（展示物）維持管理方法の検討
- 9月～10月 道標設置箇所の現地調査

・全体会議

- 17年 12月16日 ワークショップ打ち合わせ
規約改正検討
道標設置箇所の報告
サテライト（展示物）維持管理方法の検討



↑ 広報活動（産業文化祭）

サテライト紹介 (第7号)

ホタルの里 (二区町)

近年、豊かな自然環境が減少していくなかで、昔は水路の周辺でよく見られた「ホタル」の生息場所を保全するため、二区町に「ホタルの里」づくりを行っています。

地元の二区町の有志が「ホタルの里保存会」を設立し、水路の清掃など生息環境の保全につとめています。また、水路整備の始まる前の11月にはホタルの幼虫やその餌となるカワニナの「救出作戦」を行いました。



救出した幼虫が順調に育てば、夏ごろには成虫になったホタルを見ることができるようになると思います。

←「ホタルの里」水路のようす
(水はまだ流れていませんが・・・)

接骨木の常夜灯・石仏 (接骨木)

常夜灯とは、主に道路の沿線に作られ、現在でいう「街路灯」の役割をもっていたものです。また、単に道路照明としての機能だけでなく、地域の人々の信仰の対象にもなっていたと考えられています。

ここにある常夜灯は石造りの灯籠型で、刻字から、慶応年間(1865年～)頃に建てられたものと思われます。また、常夜灯のそばには、念仏供養塔・地藏菩薩・十九夜灯・庚申塔などが並んでいます。



常夜灯



供養塔など

～ ホームページのご案内 ～

田園空間博物館ホームページを開設しました。



ホームページアドレスは、

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/denkoo/>

です。

このサイトへは、

- ①上のアドレスを直接入力する
- ②ホームページの検索サイトで「田園空間博物館 那須野」や「那須野が原西部田園空間博物館」等のキーワードを入力し、検索する
- ③那須塩原市ホームページの中のリンク集から「那須野が原西部田園空間博物館」のところをクリック

などの方法でアクセスできます。

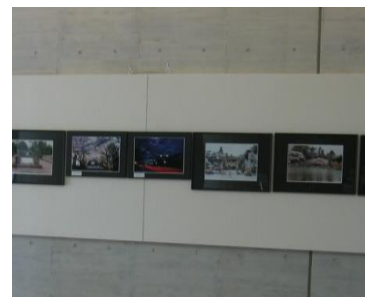
☆コミュニティだより☆

1月9日（月）から21日（土）まで、那須野が原博物館のエントランスホールで、大山コミュニティ「自然ふれあい将軍ルート」の写真展が開かれました。

出展された写真は、大山・乃木両将軍に関するもの、^{ひきぬま}曇沼用水、ぼっぽ通りなどの17点で、いずれも「将軍ルート」にふさわしく、厳選されたものばかりでした。

大山コミュニティ内サテライト
（展示物）の写真展のようす

（那須野が原博物館内の
エントランスギャラリー）



那須野が原ウォーク開催

昨年10月2日に「2005那須野が原ウォーク」が那須野が原公園とその周辺を舞台に開催されました。

ウォークは公園内「郷土の広場」をスタートし、「那須疏水探訪の小径」や水^み土^ど里^りネット那須野ヶ原を經由し、公園の管理センター前へ戻るおよそ2時間のコースで行われました。

ウォークを完歩した人たちの顔には、参加した満足感が漂っていました。



ウォーク開会式のようす

田園空間博物館とは ～ 「田園空間博物館って何？」という人のために・・・ ～

「田園空間博物館」（略称：田空^{でんくう}）とは、農業・農村の営みを通じてはぐくまれてきた「水」と「土」と「里」が織りなす地域資源（伝統的な農業施設や美しい景観）を、田園空間全体に広がる「展示物」としてとらえ、地域そのものを『屋根のない博物館』として整備・再生し、魅力ある田園空間を生み出す取り組みです。これらの取り組みの中では、地域住民が主体的に地域資源を活用して歴史教育、都市との交流、自然観察、体験活動などを展開しています。

ここ「那須野が原西部地区」の田園空間博物館は平成12年度からスタートし、その範囲は、旧西那須野町全域と旧塩原町の横林・接骨木地区のおよそ7000ヘクタールに及びます。本地区のキャッチフレーズは『水が拓く緑の夢空間 那須野』です。明治以降に開拓された西那須野地区と江戸時代より街道沿いの街として発展してきた横林・接骨木地区の美しい自然環境や疏水・史跡などを守り、今後の私たちの生活の中に生かし、豊かな心をつくるものとして設立されました。

平成17年1月に那須塩原市が誕生しました。市のキャッチフレーズは「人と自然がふれあうやすらぎのまち那須塩原」であり、田空の理念と合致するものです。この「田空」を市民の財産として守り育てていこうではありませんか。

ところで、田空の施設について皆さんはご存じでしょうか。田空において一番の核となる施設は那須野が原博物館に併設している「総合案内所」です。そして、各地区の公民館がそれに次ぐ施設として位置付けられています。

この広大な博物館は上に述べた案内施設以外に、100箇所以上の「サテライト（※1）」とそのサテライトをつなぐ10の「フットパス（※2）」から成り立っています。どのコースにもその地域に遺された歴史や美しい自然の景観が皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。

当協議会では、この「博物館」の運営により、地域の自然環境を守り、また、今以上の美しい状態をつくりその歴史や人々の生きてきた証を後世に伝えていくことで、人々の豊かな心をはぐくむものと確信しております。

田空の詳細はホームページでもご覧になれますが、ぜひ総合案内所へお越しいただき、実物をご覧ください。



凡例	
総合案内所	
地域案内施設	
サテライト	
フットパス	
博物館エリア	
那須疏水・水路	
道路	
高速道路	
鉄道	



※1 サテライト (satellite)
衛星、従者の意。
ここでは、総合案内所の周りに点在している「展示物」のことを指します。

※2 フットパス (footpath)
遊歩道、散策路の意。